



津波避難を想定し、防災訓練

9月3日、津波の発生を想定した避難訓練が、石崎・小砂子の両地区にて実施され、日曜日にも関わらず多くの地域住民が参加しました。

この避難訓練は、檜山地域で地震が発生し、津波が迫っていると想定で実施され、沿岸地域の住民の方々が避難の経路や避難場所を再確認する目的で毎年行われています。

近年は津波に限らず、台風の上陸による川の氾濫や土砂崩れなど、避難を必要とする災害が増加傾向にあります。

災害からの避難において、普段からの準備に勝る備えはありませんので、いつやってくるかわからない災害に備え、今一度『自分の住んでいる場所からの最善の避難方法』を見つめ直しましょう。



秋の涼風の中で、元氣いっぱい園児たち!

9月9日、上ノ国と河北の両保育所において、運動会が開催されました。

上ノ国保育所では、天気に恵まれたことから3年ぶりに外での運動会が実施され、心地よい秋の日差しの下、園児たちが踊りや徒競走など、日頃の練習の成果を発揮し、元気に躍動していました。

また、河北保育所では、例年通り河北小学校体育館で実施され、今年は参加した園児たちが一人も泣くことなく、全員が最後まで笑顔で運動会に参加していました。

両保育所の園児たちは、この日のために駆けつけたり歌、踊りの練習を毎日行ってきたり、見守るお父さんお母さんを見つけると、弾けるような笑顔で嬉しそうに成果を披露していました。



町内小中高生による安全運転への声かけ

9月11日、秋の交通安全週間に係る活動の一環として、上ノ国小学校児童会・上ノ国中学校生徒会・上ノ国高校生徒会およびボランティア局が合同で、ドライバーへの交通安全の啓発を呼び掛ける活動を行いました。

北村コミュニティセンター前で呼び掛けを行った生徒達は、『交通安全運動実施中』と書かれた横断幕を持ち、警官が通行する車両を路肩に誘導すると、メッセージカードやティッシュを手渡し、『安全運転をお願いします』と声かけしていました。

活動に参加した生徒は、『小中高の皆が協力し合い、安全運転を呼びかけることができて良かったです。』と話し、これからも交通安全死亡事故ゼロのまちのために、こうした活動で力になりたいとのことでした。



道の駅もんじゅ 函館グルメサーカスへ参加

9月2日から3日にかけて、道内外の美味が集う「はこだてグルメサーカス2017」が函館朝市第一駐車場で開催され、本町からは道の駅もんじゅが参加しました。

道の駅もんじゅは、これまで各地のイベントで「てつくりクリミーフライ」「ハンバーグ春巻き」など、本町特産品を使用した様々な料理を出品してきましたが、今回は新たな試みとして、タコ焼きのタコをツブに変え、大身のツブ、ウマミのある出汁を生地に閉じ込めた「ツブ玉」を販売しました。

イベントは両日ともに好天にも恵まれたこともあって来場者が途切れず、ツブ×たこ焼きという珍しい組み合わせの「ツブ玉」には約30分待ちの行列ができ、2日間ともに正午すぎに早々に完売するほどの盛況ぶりです。多くの方々が上ノ国の美味を味わっていました。